

令和6年度（2024年度）
地域連携センター事業報告書



拓殖大学 地域連携センター

◆令和6年度（2024年度）地域連携センター事業報告書

1. 岩手県盛岡市「文京区学生と創るアグリイノベーション事業」
■盛岡市役所、跡見学園女子大学、拓殖大学、東京大学、東洋大学
2. 山梨県富士川地域の活性化に向けた取り組み
■富士川町、山梨県立大学、拓殖大学
3. 長野県上田市「鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト（魅力発見プロジェクト）」
■上田市、鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト、拓殖大学
4. 八王子城跡の魅力を高めるデザインプロジェクト
■特定非営利法人 八王子城跡三ッ鱗会、八王子市教育委員会、拓殖大学
5. 館ヶ丘団地 暮らし向上プロジェクト等の学生活動
■館ヶ丘団地自治会、UR都市機構、拓殖大学 他
6. 八王子実践高等学校×拓殖大学「高大連携講座」（高校2・3年生対象）
■八王子実践高等学校、拓殖大学
7. 高尾登山電鉄「社員英語研修」への講師派遣
■高尾登山電鉄株式会社、拓殖大学
8. 八王子商工会議所・大学コンソーシアム八王子「出前研究室」事業への参加
■大学コンソーシアム八王子、八王子商工会議所、拓殖大学
9. 「南浅川水辺環境活用」の提案
■八王子市、拓殖大学
10. 岐阜県美濃市 美濃和紙あかりアート展参加
■美濃市役所、美濃市観光協会、美濃市商工会議所、拓殖大学 他

1. 岩手県盛岡市「文京区学生と創るアグリイノベーション事業」

【盛岡市と拓殖大学との連携・協力に関する包括協定書】

1. 事業概要

(1) 事業テーマ：道の駅を拠点とした地域経済循環の仕組みの構築

(2) 概要：平成31年2月に東京都文京区と盛岡市とが締結した友好都市提携を契機とし、文京区内5大学と盛岡市が連携し、フィールドワーク等の調査・連携活動を通じた玉山地域の農業資源の掘り起こしと大学の知見を活かした農業の発展を目的とした産学官連携事業。
令和3～5年度の3年間を当初の事業期間として活動し、総括して成果報告を行った。さらに、令和6年度以降は盛岡市全域を対象地域として、これまでの課題にとらわれず新たな連携・研究活動を令和6～8年度の3年間実施している。

(3) 参画大学の研究テーマ

拓殖大学：①「雁喰豆（黒平豆）の生産から販売まで一連の工程における課題解決に向けた取組の推進」

・工学部 前山研究室（前山利幸先生）

IoTによる農業支援（気象センサ等によるデータ解析）についての研究

・工学部 佐々木研究室（佐々木整先生）

有害鳥獣防除の効果的手法に関する研究

・商学部 田嶋ゼミ（田嶋規雄先生）

雁喰豆の付加価値創造に関する研究

②「農業振興を通じて地域経済を活性化する取組の推進」

・政経学部 山本ゼミ（山本尚史先生）

宿泊・研修施設「ユートランド姫神」産直の経営戦略に対する提言

・国際学部 竹下ゼミ（竹下正哲先生）

スマート農業導入を見据えた農業者へのアプローチ及び効果の試験

跡見学園女子大学：「地域コミュニティデザインの視点から見た、「もりおか短角牛」の現状と振興策の検討」

東京大学：「玉山地域の農業課題分析と振興策の検討」

東洋大学：「新規就農の農業経営体から見る、多角化経営の分析と将来展望」

日本女子大学：「雁喰豆の商品・加工技術の開発」

2. 活動報告

《研究・支援に係る協議等》

(1) 日程：令和6年3月21日（木）10：00～16：00

(2) 議題：令和6年度アグリイノベーション事業実施体制の確認
令和6年度以降の研究課題についての検討

(3) 場所：文京キャンパス A館 第3会議室、

八王子国際キャンパス 管理研究棟 第4会議室

- (4) 出席者：盛岡市玉山総合事務所産業振興課 阿部吉将氏
拓殖大学 商学部教授 田嶋規雄、政経学部教授 山本尚史（文京）
副学長 山田政通、工学部教授 佐々木整、
国際学部教授 竹下正哲、八王子事務部長 上條聡視
八王子総務課 戸塚範子、忍田健史（八王子）

《研究・支援に係る協議等》

- (1) 日 程：令和6年6月5日（水）13:00～15:00
(2) 議 題：今年度の各研究室・ゼミの取組について（研究課題詳細ほか）
今年度のスケジュール、活動時の具体的な手続き等
(3) 場 所：Zoomによるオンライン会議
(4) 出席者：盛岡市玉山総合事務所産業振興課 内澤 良輔氏、阿部吉将氏
拓殖大学 商学部教授 田嶋規雄、政経学部教授 山本尚史、
工学部教授 前山利幸、工学部教授 佐々木整、
国際学部教授 竹下正哲、八王子総務課長 杉本栄
八王子総務課 戸塚範子、忍田健史

《フィールドワーク》

◆工学部 佐々木研究室

- (1) 日 程：令和6年6月18日（火）～6月19日（水）
(2) 場 所：岩手県盛岡市玉山地域
・盛岡市役所玉山総合事務所
・雅ファーム
(3) 活動内容：雁喰豆生産者（雅ファーム）農場への機器設置他
(4) 参 加 者：工学部教授 前山利幸、学生3名

◆商学部 田嶋ゼミ

- (1) 日 程：令和6年7月10日（水）～7月11日（木）
(2) 場 所：岩手県盛岡市玉山地域
・盛岡市役所玉山総合事務所
・山藤農園、雅ファーム
(3) 活動内容：生産者等へのヒアリング他
(4) 参 加 者：商学部 田嶋規雄先生、学生3名

◆工学部前山研究室

- (1) 日 程：令和6年7月18日（木）～7月19日（金）
(2) 場 所：岩手県盛岡市玉山地域
・盛岡市役所玉山総合事務所
・雅ファーム

(3) 活動内容：雁喰豆生産者（雅ファーム）農場へ設置した機器調整他

(4) 参 加 者：工学部前山研究室 学生2名



田嶋ゼミ：現地生産者へのインタビュー



前山研：雁喰い豆の栽培農場への機器設置

◆工学部前山研究室

(1) 日 程：令和6年8月1日（木）～8月2日（金）

(2) 場 所：岩手県盛岡市玉山地域

・盛岡市役所玉山総合事務所

・雅ファーム

(3) 活動内容：雁喰豆生産者（雅ファーム）農場へ設置した機器調整他

(4) 参 加 者：工学部 前山利幸先生

◆工学部佐々木研究室

(1) 日 程：令和6年9月11日（水）～9月13日（金）

(2) 場 所：盛岡市玉山総合事務所

現地生産農家（雅ファーム）

盛岡猟友会第7支部 他

(3) 活動内容：盛岡猟友会への有害鳥獣被害ヒアリング、有害鳥獣駆除のための
罾 見学 他

(4) 参 加 者：工学部 佐々木整 先生、 学生3名

◆政経学部山本ゼミ

(1) 日 程：令和6年9月14日（土）～9月15日（日）

(2) 場 所：ユートランド姫神

大規模産直施設（恵一握ほか）

(3) 活動内容：ユートランド姫神見学と現状把握、大規模産直施設見学 他

(4) 参 加 者：政経学部 山本尚史先生、八王子総務課 黒瀬友規

◆工学部前山研究室

(1) 日 程：令和6年10月21日（月）～10月22日（火）

- (2) 場 所：岩手県盛岡市玉山地域
・盛岡市役所玉山総合事務所
・有害鳥獣捕獲場所 他
- (3) 活動内容：①有害鳥獣被害現状および対策についての情報収集
②上記被害のある農場でのドローン等の試験、他
・・・今後本学の調査で収集したデータを東京大学と共有することを予定。
- (4) 参 加 者：工学部佐々木研究室 学生1名
※本事業に参加している東京大学の学生の調査に同行

◆工学部佐々木研究室

- (1) 日 程：令和6年9月11日(水)～9月13日(金)
- (2) 場 所：盛岡市玉山総合事務所
現地生産農家(雅ファーム)
盛岡猟友会第7支部 他
- (3) 活動内容：盛岡猟友会への有害鳥獣被害ヒアリング、有害鳥獣駆除のための罠見学 他
- (4) 参 加 者：工学部 佐々木整先生、学生3名

◆商学部 田嶋ゼミ

- (1) 日 程：令和6年12月4日(水)～12月5日(木)
- (2) 場 所：岩手県盛岡市 盛岡市役所本庁舎
- (3) 活動内容：雁喰豆の付加価値の探索・提案に向けたアンケート調査実施
- (4) 参 加 者：商学部 田嶋規雄先生、学生5名

◆工学部佐々木研究室

- (1) 日 程：令和6年12月11日(水)～12月12日(木)
- (2) 場 所：盛岡市玉山総合事務所
有害鳥獣捕獲場所 他
- (3) 活動内容：①有害鳥獣被害現状および対策についての情報収集
②害獣追跡のための各種データ収集(圃場、近隣山間部)
- (4) 参 加 者：工学部 佐々木整先生、学生1名
※本事業に参加する東京大学の学生が調査に同行

◆国際学部竹下ゼミ

- (1) 日 程：令和7年1月21日(火)～1月22日(水)
- (2) 場 所：盛岡市玉山総合事務所
・玉山地地区農場(山藤農園)・都南地区農場(藤与果樹園)
- (3) 活動内容：スマート農業導入を見据えた生産者との協議、現地視察他
- (4) 参 加 者：国際学部 竹下正哲先生、学生5名、八王子総務課 黒瀬友規

◆政経学部山本ゼミ

- (1) 日 程：令和7年3月2日(日)～3月3日(月)
- (2) 場 所：ユートランド姫神
道の駅 もりおか渋民他を予定
- (3) 活動内容：ユートランド姫神運営会社へのヒアリング
道の駅 (R7.4月開業予定) 見学 他
- (4) 参 加 者：政経学部 山本尚史先生

《活動報告会》

◆中間報告会

- (1) 日 程：令和6年9月30日(月)
- (2) 場 所：文京区区民センター（東京都文京区）
- (3) 参 加 者：跡見学園女子大学、拓殖大学、東京大学、東洋大学、日本女子大学
本学現地参加者：前山研・佐々木研・田嶋ゼミ 学生6名
工学部 前山利幸先生・佐々木整先生、
八王子総務課職員3名
- (4) 内 容：学生による活動の進捗状況報告 他

◆成果報告会

- (1) 日 程：令和7年2月21日(金)
- (2) 場 所：プラザおでって おでってホール（岩手県盛岡市中ノ橋1丁目）
リモート会議ツール（Zoom）を併用したハイブリッド開催
- (3) 参 加 者：跡見学園女子大学、拓殖大学、東京大学、東洋大学、
日本女子大学
本学参加者：前山研・佐々木研・田嶋ゼミ・竹下ゼミ 学生11名
商学部 田嶋規雄先生、工学部 佐々木整先生、
国際学部 竹下正哲先生
八王子総務課 戸塚範子、忍田健史
- (4) 内 容：文京区学生と創るアグリイノベーション事業の今期活動の成果報告



成果発表の様子



参加者集合写真

《研究・支援に係る協議等》

- (1) 日 程：令和7年3月18日(火)
- (2) 場 所：zoomによるオンライン会議
- (3) 参 加 者：盛岡市玉山総合事務所 産業振興課 阿部吉将 氏
産業振興課 内澤良輔 氏
拓殖大学 工学部 佐々木整先生、政経学部 山本尚史先生、
国際学部 竹下正哲先生、八王子事務部長 上條聡視、
八王子総務課長 杉本栄、八王子総務課 忍田健史、
戸塚範子、黒瀬友規
- (4) 内 容：令和7年度の活動スケジュールおよび活動目標の設定について

2. 山梨県富士川地域の活性化に向けた取り組み

【富士川町と拓殖大学との包括連携に関する協定書】

1. 事業概要

- (1) 地方創生「新しい地方創生のカタチづくりプロジェクト」
富士川町との包括連携協定に基づき、地域活性化の各種提案を引き続き検討、提案する。地域活性化を狙った商品開発、ふるさと納税返礼品の開発、平林地区の特産品（トマト）に焦点をあてた活性化策の提案など各種取り組みを実践している。
- (2) 山梨県・静岡県との広域連携
富士川舟運によって以前から繋がりが深い山梨県南部地域と静岡県に、富士川と平行し、両地域を結ぶ中部横断自動車道が令和3年8月29日に開通した。これにより山梨・長野といった内陸地域と静岡の沿岸地域の連携・交流が深まることで、地域活性化に寄与することが期待されている。

2. 活動報告

《現地調査・活動》

◆商学部 中嶋ゼミ・国際学部 徳永ゼミ・工学部 永見研究室

- (1) 日 程：令和6年5月1日（水）
- (2) 場 所：八王子国際キャンパス
- (3) 内 容：本年度活動の役割分担、7/12～13 現地調査・活動の打ち合わせ、
- (4) 参 加 者：商学部准教授 中嶋嘉孝、国際学部教授 徳永達己、
工学部准教授 永見豊、各ゼミ・研究室学生

◆商学部 中嶋ゼミ・国際学部 徳永ゼミ・工学部 永見研究室

- (1) 日 程：令和6年7月12日（金）～13日（土）
- (2) 場 所：山梨県富士川町役場、平林地区「たはたの宿」、道の駅富士川
- (3) 内 容：たはたの宿活性化プロジェクト説明会、農業体験、
道の駅富士川 開業10周年記念式典、フェスティバルへの出店

- (4) 参 加 者：商学部准教授 中嶋嘉孝、国際学部教授 徳永達己、
工学部准教授 永見豊、各ゼミ・研究室学生 計11名、
八王子総務課 戸塚範子

◆国際学部 徳永ゼミ

- (1) 日 時：令和6年9月18日(水)～9月19日(木)
(2) 場 所：富士川町 「たはたの宿」、富士川町役場、道の駅富士川、
ゆず活性化組合他
(3) 参 加 者：国際学部 徳永達己先生、徳永ゼミ学生11名
(4) 内 容：①平林「たはたの宿」活性化提案等の今後の事業方針打ち合わせ
(富士川町役場)
②富士川町現地の状況確認、調査、課題の整理 他

◆商学部 中嶋ゼミ

- (1) 日 時：令和6年9月24日(火)～9月25日(水)
(2) 場 所：茨城県日立市「たかはら自然塾」、日立市役所 他
(3) 参 加 者：商学部 中嶋嘉孝先生、中嶋ゼミ学生5名
(4) 内 容：①富士川町「たはたの宿」と同様の廃校改装施設「たかはら自然塾」
視察調査
②上記施設運営者の日立市担当者ヒアリング調査 他

◆国際学部 徳永ゼミ・商学部 中嶋ゼミ

- (1) 日 時：令和6年11月9日(土)～11月11日(月)
(2) 場 所：富士川町いきいきスポーツ公園、富士川町役場、他
(3) 参 加 者：国際学部 徳永達己先生、商学部 中嶋嘉孝先生、徳永ゼミ学生2名、
中嶋ゼミ学生2名、八王子総務課 戸塚範子
※報告会には富士川町政策秘書課職員、富士川まちづくり公社職員が参加
(4) 内 容：①甲州富士川まつり参加（研究成果PR・学生考案ゆずケーキ他販売ブ
ース出展）
②ふるさと納税における体験型返礼品企画を通したまちづくり提案
(富士川町役場)
③平林「たはたの宿」活性化案提案（富士川町役場）
④富士川町現地の状況確認、調査、課題の整理

◆工学部 永見研究室（国際学部 徳永ゼミ・商学部 中嶋ゼミとの協働）

- (1) 日 程：令和6年12月12日(木)～12月13日(金)
(2) 場 所：道の駅 富士川、中部横断自動車道、平林地区
(3) 参加者：永見豊先生、永見研究室 学生3名、
道の駅富士川 代表取締役 藤巻睦久氏 他

- (4) 内 容：①道の駅内の洋菓子店「バウムアルラ」販売促進のための現地調査・動画撮影
 ②道の駅との意見交換
 ③平林地区の棚田視察（今後の活動計画立案）
 ④中部自動車道の視察

《調査報告・協議》

◆商学部 中嶋ゼミ・工学部 永見研究室

- (1) 日 時：令和6年11月14日(木)
 (2) 場 所：道の駅富士川・拓殖大学（オンライン報告）
 (3) 参加者：商学部 中嶋嘉孝先生、工学部 永見豊先生、中嶋ゼミ学生1名、永見研学生1名
 道の駅富士川 代表取締役 藤巻睦久氏（本学OB）
 (4) 内 容：道の駅富士川の活性化案提案
 ①道の駅内バウムクーヘン店「バウムアルラ」来店客調査分析と提案（中嶋ゼミ）
 ②道の駅特産として同店をPRする方策提案（永見研）



甲州富士川まつり



たはたの宿活性化案提案

3. 鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト：長野県上田市 鹿教湯温泉フィールドサーベイ（魅力発見プロジェクト）

【長野県上田市鹿教湯温泉地域の活性化包括連携に関する協定書】

1. 事業概要

鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクトと題した地域活性化組織と令和元年度に協定を締結したことで、拓殖大学の学生がまちづくり、地域活性化のための魅力発見プロジェクトに参加する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により計画が中断していた。令和4年度に活動再開して以来、毎年より本格的に活動しデザイン提案を実施した。

2. 活動報告

《令和5年度成果報告・次年度活動打ち合わせ》

- (1) 日 程：令和6年3月24日（日）～25日（月）
- (2) 場 所：長野県上田市鹿教湯温泉地域 鹿教湯温泉共同組合 他
- (3) 内 容：令和5年度成果報告・次年度活動打ち合わせ
- (4) 参 加 者：工学部教授 工藤芳彰

《フィールドサーベイ》

- (1) 日 程：令和6年5月31日（金）～6月2日（日）
- (2) 場 所：長野県上田市鹿教湯温泉地域 鹿教湯温泉共同組合
- (3) 内 容：デザイン提案に向けた関係者ヒアリング、現地調査
- (4) 参 加 者：工学部教授 工藤芳彰、学生10名

《現地調査・活動》

- (1) 日 程：令和6年10月12日（土）～10月13日（日）
- (2) 場 所：長野県上田市（鹿教湯温泉地域）
- (3) 参加者：工学部 工藤芳彰先生、
CDS（コミュニティ・デザイン・サポーターズ）学生4名
- (4) 内 容：①鹿教湯温泉地域補足調査
②デザイン提案の成果物検証（鹿教湯温泉 食・浴の秋祭りウィーク参加）



プチマルシェへの参加



販売品 オリジナルデザイン缶バッジ

4. 八王子城跡の魅力を高めるデザインプロジェクト

【八王子市と拓殖大学との包括連携に関する協定書】

1. 事業概要

- (1) 位置づけ：八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部文化財課、およびNPO法人八王子城跡三ッ鱗会との公学民連携プロジェクト
- (3) 活動主体：CDS（Community Design Supporters）11名＋「デザインプロジェ

クト・演習」工藤担当課題選択者2名ー合計13名

- (4) 活動概要：文化庁・日本遺産認定ストーリーの筆頭文化財に位置付けられる八王子城跡に着目し、当地を「地域コミュニケーション・ハブ」として利活用していくための基盤づくりとして、魅力を向上させるデザイン提案に取り組んだ。高尾駅北口からバスで10分という好位置と連携先である文化財課職員や三ッ鱗会メンバーによる支援、「禁三密」の状態を取りあい屋外活動などを背景に、結果として9つのデザイン提案を報告書にまとめることができた。令和3年度の提案により、関係者からの高い評価を得て、協定締結に結びついた。本年度も引き続き活動を継続させた。
- (5) 活動成果：提案のうち御城印2種については、準公式版として扱われることが決定しており、さっそく三ッ鱗会でのポストカード化が予定されるなど、今後の利活用が決定している。また、AR（拡張現実）技術によるアプリケーション3種については、「桑都日本紀伊産遺産センター八王子博物館（はちはく）」の展示の一部として採用され、来場者を楽しませている。
- (6) 今後の展開：三者連携化に加え、新たなデザイン提案および実践に取り組む。

2. 活動報告

《イベント参加》

◆元八マルシェ出店

- (1) 日 程：令和6年4月27日（土）、28日（日）
- (2) 場 所：八王子城跡公園
- (3) 内 容：デザインプロジェクトCDSによる缶バッジ製作・販売、宝探しウォークラリー企画

《現地調査・活動》

◆八王子城跡フィールドサーベイ

- (1) 日 程：令和6年10月8日（火）
- (2) 場 所：八王子城跡公園（ガイダンス施設→御主殿跡）
- (3) 内 容：デザイン提案に関する調査、史跡見学
- (4) 参 加 者：工学部工藤芳彰先生、デザイン学科3年生7名
八王子市文化財課学芸員 村山修 氏

◆八王子城跡フィールドサーベイ

- (1) 日 程：令和6年10月15日（火）
- (2) 場 所：八王子城跡公園（ガイダンス施設→本丸跡）
- (3) 内 容：デザイン提案に関する調査、史跡見学
- (4) 参 加 者：工学部 工藤芳彰先生、デザイン学科3年生8名
八王子市文化財課学芸員 村山修 氏

《調査報告》

◆最終プレゼンテーション

- (1) 日 程：令和7年1月14日（火）
- (2) 場 所：拓殖大学八王子国際キャンパス 工学部棟4階 演習室2
- (3) 内 容：八王子市文化財課・八王子城跡三ツ鱗会・
元八マルシェ関係者へのデザイン提案
- (4) 参 加 者：工学部 工藤芳彰先生、デザイン学科3年生8名、4年生1名
八王子市文化財課課長他職員3名、三ツ鱗会理事長他会員10名、
元八マルシェ実行委員4名



グッズ販売ブース



会場の様子

5. 館ヶ丘団地 暮らし向上プロジェクト等の学生活動

1. 事業概要

1975年開設以来2400戸の規模を持つ郊外型団地である館ヶ丘団地、これまで長年にわたり本学および法政大学の学生が数多くの活動を行ってきた。現在本学では国際学部徳永ゼミ・藍澤ゼミ、工学部工藤研究室の学生が活動している。

2. 活動報告

《イベント参加》

◆館ヶ丘団地 春まつり

- (1) 日 程：令和6年5月19日（日）
- (2) 場 所：館ヶ丘団地
- (3) 内 容：・デザインプロジェクトCDSによる 缶バッジ製作・販売
・藍澤ゼミによる お絵かきせんべい販売、防災スタンプラリー
- (4) 参 加 者：工学部教授 工藤芳彰、CDS 学生メンバー
国際学部教授 藍澤淑雄、藍澤ゼミメンバー

◆館ヶ丘団地 秋まつり（親子 de スポーツ）

- （１）日 程：令和６年１１月２３日（土）
- （２）場 所：館ヶ丘団地
- （３）内 容：・デザインプロジェクト CDS による 缶バッジ製作・販売
・藍澤ゼミによる お絵かきせんべい販売、防災スタンプラリー
- （４）参 加 者：工学部 工藤芳彰先生、CDS 学生メンバー
国際学部 藍澤淑雄先生、藍澤ゼミメンバー



オリジナルデザイン缶バッジ・マグネットの販売

6. 八王子実践高等学校×拓殖大学「高大連携講座」

【拓殖大学と八王子実践高等学校との教育交流に関する協定書】

1. 事業概要

高大連携の一環として八王子実践高等学校と締結した「教育交流に関する協定書」に基づき、特別講座への生徒の受入を行っている。

2. 講座内容

（１）２年生対象講座

①担当講師

- ・小島和枝工学部准教授（英語）
- ・小田貴子商学部講師（口頭表現）

②講座テーマ

- ・英語「楽しく学んで Improve Your English Skills！」
- ・口頭表現「楽しく学ぶ口頭表現の技法」

③講義曜日・時限

- ・英 語 土曜日 1 時限目（9:20～11:05）
- ・口頭表現 土曜日 2 時限目（11:15～13:00）

④受講者数 58名

（２）３年生対象講座

①担当講師

本学専任教員（商学部、政経学部、外国語学部・工学部・国際学部）

②講座内容

「文理融合で学ぶグローバル社会」をテーマとして各教員の専門分野から
グローバル社会について講義する（オムニバス形式）

③講義曜日・時限 土曜日 1 時限目（9:20～11:05）

④受講者数 39名

※講座開講場所 八王子国際キャンパス A館 511・512 教室

3. 講座日程

No.	講座日	2 年生	3 年生	
			講師名	講座テーマ
1	4月13日	○	小林 伊智郎	「テクニカルライティング」への招待
2	4月20日	○	渡邊 泰洋	国際的にみた死刑制度の動向
3	4月27日	○	稲葉 知恵子	サステナビリティと情報開示
4	5月11日	○	竹下 幸治郎	企業はビジネスを通じてSDGsに貢献できるのか？
5	5月18日	○	工藤 芳彰	ソーシャルデザインとコミュニティデザイン
6	6月8日	○	小井 亜津子	グローバル化は日本語をどう変える？
7	6月15日	○		
8	6月22日	○	石川 一喜	特別講座～プレゼンテーション力をアップさせよう！（1日目）
9	7月6日	○	石川 一喜	特別講座～プレゼンテーション力をアップさせよう！（2日目）
10	9月21日	○	新田 目 夏実	国際的な人の移動と現代社会の諸問題
11	9月28日	○	佐藤 幸志	ビジネスと国際社会貢献
12	10月5日	○	常光 康弘	イタリア生まれの『Arduino UNO』がつかないだこの世界
13	10月12日	○	前田 将輝	多様な生物の進化における流体力学
14	10月26日	○	郷澤 圭介	グローバル化に耐える危機言語、マヤ語を体感しよう！
15	11月2日	○	矢ヶ崎 邦彦	グローバル化社会を生き抜くための批判的思考能力
16	11月9日	留学生 交流会	椎野 幸平	貿易利益と新たな課題 - 国際経済学への招待 -
17	11月16日	○	佐藤 丙午	戦争論への招待：国際社会における戦争研究の基礎と最前線
18	11月30日		平山 邦彦	105分で覚えてみよう！中国語のワンフレーズ

※2年生の「○」は、講座開講、1時限：英語・2時限：口頭表現を実施。

※7月6日（土）に高校1年生対象の講座説明会を実施。

※1～2月（2年生）は、各学部の入門講座、文京キャンパス見学会等を予定。

4. 特別講座、その他

（1）留学生との交流会（2年生対象）

①日 程 令和6年11月9日（土） 9:20～13:00

②場 所 八王子国際キャンパス A511教室 他

- ③人 数 高校2年生、本学留学生
 ④内 容 留学生による母国紹介・グループディスカッションによる異文化交流 他
 ⑤協 力 八王子国際課

(2) 2年生対象特別講座「大学での学び体験講座」

- ①担当講師 本学専任教員（商学部、政経学部、外国語学部・工学部・国際学部）
 ②講座内容 「大学での学び体験」をテーマとし各学部に応じた専門分野があるかを知ることを目的とするオムニバス形式の講義。
 ③講義日程 土曜日1時限目（9：20～11：05）
 2時限目（11：15～13：00）

- ④受講者数 58名

※講座開講場所 八王子国際キャンパス A館511教室、
 エレクトロニクス実験室I、文京キャンパス C301教室

		1限	2限
		大学での学び体験講座	
日付	曜日	担当講師	担当講師
2025年1月11日	土	外国語学部 阿部沙織 先生	工学部 前山利幸 先生
2025年1月25日	土	国際学部 新田目夏実 先生	政経学部 矢ヶ崎邦彦 先生
2025年2月15日	土	商学部 日野道啓 先生	文京キャンパス見学

(3) 文京キャンパス見学会

- ①日 時：令和7年2月15日（土）9：30～12：40
 ②内 容：大学あいさつ（山田政通副学長）、大学紹介・入試制度説明、
 キャンパス見学
 ③場 所：文京キャンパス C301教室
 ④参加者：高校2年生 58名、教員 5名
 ⑤協 力：入学課（矢部、宇田川、大塚各課員による説明・見学案内）

連携講座の様子



1) オムニバス講座（3年生）



2) 英語講座（2年生）



3) 国語（口頭表現）講座（2年生）



4) 留学生との交流授業



5) 2年生対象特別講座



6) 2年生対象特別講座

5. 1年生対象高大連携講座説明会

総合進学コースの1年生に対し、2年生に進級時のコース選択（国際教養クラス、先進科学クラス、総合教養クラス等）の参考として、本学が受け持つ連携講座（国際教養コースを選択した生徒向け）の内容等について説明会を実施。

①日 程 令和6年7月6日（土） 9:00～12:00

②場 所 八王子国際キャンパス C101教室

③来 校 者 生徒：高校1年生192名、中学3年生22名、教員：11名

④内 容 大学紹介・模擬講座・八王子実践高校卒業生の大学生活紹介、
キャンパス見学

⑤模擬講座 商学部 小田貴子講師「楽しく学ぶ口頭表現の技法」
工学部 小島和枝准教授「楽しく学んで Improve Your English Skills!」
各30分

令和6年度 高大連携講座
「英語で社会問題を学び、考え、発信できるようになろう！」

(担当講師：小島和枝)

■講座の目的

映像から英語を学び「英語に興味・関心を持たせる」。そして、グローバル化に伴うグローバル・イシューについて考え、英語で発信する。能力の必要性に触れ「英語を自ら学ぶ力」を育てることを目的とする。

■講座の到達目標

英語の4技能（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング）を伸ばし、自ら英語で発信できる能力を獲得する。

■講座計画

- 1 4月13日（土）：Lesson 1 オリエンテーションと英語について考えよう！
授業の進め方や予習・復習、配布物、評価について説明します。そして、「自分にとって英語とは」について考えていただき、グループでディスカッションをしてもらいます。最後に意見を発表してもらいます。
- 2 4月20日（土）：Lesson 2：Learning English
予習プリントの重要単語を学びます。そして、「海外で英語を学んでいる状況」の映像を見て、考えていただき、グループでディスカッションをしてもらいます。最後に意見を表してもらいます。
- 3 4月27日（土）：Lesson 3：Tourism
予習プリントの重要単語を学びます。そして、「海外のインバウンド状況」の映像を見て、考えていただき、グループでディスカッションをしてもらいます。最後に意見を表してもらいます。
- 4 5月11日（土）：Lesson 4：Beauty
予習プリントの重要単語を学びます。そして、「美しさ」の映像を見て、考えていただき、グループでディスカッションをしてもらいます。最後に意見を表してもらいます。
- 5 5月18日（土）：Lesson 5：Environment ①
予習プリントの重要単語を学びます。そして、「環境問題」の映像を見て、考えていただき、グループでディスカッションをしてもらいます。最後に意見を表してもらいます。
- 6 6月8日（土）：Lesson 6：Environment ②
Environment ①
前回、学んだことを使い、予習プリントの重要単語を学びます。そして、「環境問題」の映像を見て、考えていただき、グループでディスカッションをしてもらいます。最後に意見を表してもらいます。
- 7 6月15日（土）：Lesson 7：Happy ①
予習プリントの重要単語を学びます。そして、「幸せ」の映像を見て、考えていただき、グループでディスカッションをしてもらいます。最後に意見を表してもらいます。
- 8 6月22日（土）：Lesson 8：Happy ②
先週学んだことを使い、予習プリントの重要単語を学びます。そして、「幸せ」の映像を見て、考えていただき、グループでディスカッションをしてもらいます。最後に意見を表してもらいます。
- 9 7月6日（土）：Lesson 9：Jenga
前期最終回に Jenga を使い、今まで学んだ知識を使い、グループで英語で会話をしてもらいます。
- 10 9月21日（土）：Lesson 10：Summer Holiday
予習プリントの重要単語を学びます。そして、「夏休み」の映像を見て、考えていただき、グループでディスカッションをしてもらいます。最後に意見を表してもらいます。
- 11 9月28日（土）：Lesson 11：プレゼンテーション説明と準備①
グループでプレゼンテーションをしていただく為の説明と準備をします。
- 12 10月5日（土）：Lesson 12：プレゼンテーションの準備②
グループでプレゼンテーションをしていただく為の準備をします。
- 13 10月12日（土）：Lesson 13：プレゼンテーションの準備②
グループでプレゼンテーションをしていただく為の準備をします。
- 14 10月26日（土）：Lesson 14：プレゼンテーション①
グループでプレゼンテーションを行っていただきます。
- 15 11月2日（土）：Lesson 15：プレゼンテーション②
グループでプレゼンテーションを行っていただきます。
- 16 11月16日（土）：Lesson 16：映画
英語で映画を見て英語を学んでいただきます。

■講座の方法

生徒の皆さんが「講座を聞く」のではなく、「講座に積極的に参加する」という方法で講座を進めていきます。そして、グループでディスカッションをして、意見を述べていただきます。

■予習・復習

予習の重要単語プリントを配布する。英単語の意味を調べ、予習をしてることが必須。復習は、学んだことを再度、確認してくる。

■教科書・参考書

毎時配布物を使用する。英語辞典を持参することが望ましい。
参考書として高等学校の教科書を使うこともあります。

令和6年度 高大連携講座 「楽しく学ぶ口頭表現の技法」

(担当講師：小田貴子講師)

■講座の目的

皆さんは人前で話す事は得意ですか？この講座では、日本語の特徴や話し方のコツなどを知り、自分の考えや思いを堂々と話せるようになることを目標とします。また、社会に出た時に役立つ、敬語などについても学びます。

■講座の到達目標

自分の考えや思いを伝えられる事、スマートに敬語が使える事、正しく「聴く」ことができる事など、コミュニケーションに役立つスキルを身につける、これが目標です。

■講座計画

- 4月13日(土)：オリエンテーション(初回のみ50分)
「口頭表現」ってどんな授業？皆さんは「話すこと」に関してどんなイメージを持っていますか？実は、初対面で人と会った時、話し始める前に大事なことがあります！初回は、話し始める前に大事な事やこれからの授業の流れについてご紹介します！
- 4月20日(土)：声を届ける～発音・発声
日本語の発音・発声の特徴、声の出し方について学びましょう！美しい発音のための口の開け方や滑舌について、また、聞きやすい声の基礎となる、腹式呼吸についてご紹介していきます。また、ゲームを通して「話す」ことにも慣れていきましょう！
- 4月27日(土)：聞くこと
会話は話し手と聞き手の双方で成り立っています。話すことに比べて地味なイメージの「聞くこと」ですが、実はコミュニケーションにはこの「聞く」ことが重要なのです。ここでは話すことと同じように大切な「聞く」ことについて学びます。
- 5月11日(土)：話の組み立て方
「話し上手」になるにはどうしたらいいでしょうか？基本的な話の組み立て方を学びましょう！話しのまとめ方のコツ、わかりやすい話し方、緊張のほぐし方などもお伝えしていきます。
- 5月18日(土)：魅力ある自己紹介①
初めて会う人に自分の顔と名前を覚えてもらうにはどうしたらいいでしょうか？また自分の特徴は何でしょうか？自分を知ると「話すこと」はぐっと楽になります。ニコリ笑顔と大きな声で「スピーチ」に挑戦してみましょう！
- 6月8日(土)：魅力ある自己紹介②
自分はどんな話し方をしているのか、客観的にチェックすることで、自分の話し方の特徴がわかります。スピーチは場数を踏むことによって上達していきますよ！
- 6月15日(土)：敬語①～基礎編～
皆さんは「敬語」にどんなイメージを持っていますか？敬語について3回に渡って学びます。まずは敬語の基本をおさらいし、また、実際に敬語を使って話してみるなど、スピーチにも取り入れてみましょう。
- 6月22日(土)：敬語②～間違いやすい使われ方～
間違いやすい敬語や、間違った使われ方、敬語が重なってしまっている二重敬語などについて学んでいきましょう！また、敬語の成り立ちなどについてもご紹介していきます。
- 7月6日(土)：敬語③～まとめ～
これまでの敬語のおさらいと、最近の「ことば」の傾向について学びます。ここ数年、問題となっている「おかしい日本語」についても取り上げます。スマートに敬語が使えるようになっていたら、ちょっとカッコいいかも！
- 9月21日(土)：コミュニケーションとは？～言語と非言語～
皆さんは家族やお友達、周りの人とどんな風にコミュニケーションを取っていますか？ここでは「コミュニケーション」について考えてみましょう！「言語コミュニケーション」と「非言語コミュニケーション」についてお伝えします。
- 9月28日(土)：グループプレゼンテーション①
最近では当たり前のように使われるようになった「プレゼンテーション」。基本を学び、グループでプレゼンテーションに挑戦してみましょう！テーマは何？ターゲットは誰？スピーチの流れや役割分担をみんなで決めていきましょう！
- 10月5日(土)：グループプレゼンテーション②
グループでプレゼンテーションの内容を深めていきましょう！声の大きさは？話しの流れは？など、打ち合わせやリハーサルをへて、いざ本番！笑顔で、元気に発表してみましょう！
- 10月12日(土)：グループプレゼンテーション③
みんなで力を合わせた自分たちのプレゼンテーションを実際に見てみましょう！客観的に見ることによって更にいい点・改善点、他のグループとの違いなどがわかります。
- 10月26日(土)：わかりやすい伝え方・振り返り
目で見るとすぐに分るのに、耳で聞くとわかりにくい表現とは？同音異義語などを学びながら、分りやすい話し方を考えましょう！また、次回に行われる予定のテストに備え、これまでの振り返りを行います！
- 11月2日(土)：「テスト」と「個人プレゼンテーションの発表」
これまでをまとめた簡単なペーパーテストを実施します。試験の前の週には試験前に振り返りを行う予定ですので、ご心配なく！そのあとは、「個人プレゼンテーション」に挑戦！ニコリ笑顔と大きな声で！自分らしいスピーチを目指しましょう！
- 11月16日(土)：総まとめ
これまでの授業と個人プレゼンテーションの発表を振り返ります。客観的に自分の話し姿を見ることにより、自分のスピーチの良い点や改善点がわかります。この授業を通して「笑顔」で話せるようになっていたら、これからの自分に自信が持てそうですね！

■講座の方法

プリントを読む、講座を聞くだけでなく、実際に「声を出していく」講座です。発音や滑舌練習で「声を出す」事に慣れたら、二人一組やグループでのスピーチ練習を繰り返し、人前で「話すコツ」をつかんでいきましょう。基本を理解し、実践を繰り返していきます。

■予習・復習

講座の始めには、前回の復習を行い、覚えておきたい内容などを紹介します。普段から世の中の様々な事や「言葉」に関心を持ち、自分の感受性を磨いてください。

■教科書・参考書

教科書は特に使用せず、その都度、講座内容に適したプリントを使用します。

令和6年度高大連携講座「文理融合で学ぶグローバル社会」

(担当講師：担当複数)

■講座の目的

グローバル化が急速に進展する現代社会を人文科学的視点、工学的視点及び社会科学的視点の複眼的視点から概観し、その諸相を基礎的に理解することを目的とする。

■講座の到達目標

グローバル化が急速に進展する現代社会についての基礎的な理解を深め、日本や世界の現況について他者に初歩的に説明できるようになることを目標とする。

No.	講座日	3年生	
		講 師 名	講座テーマ・講座内容
1	4月13日（土）	小林 伊智郎（工学部）	「テクニカルライティング」への招待 理工系の論文や製品のマニュアルは、「シンプルに」「はっきりと」書く、という原則があります。この原則は、外国語によるコミュニケーションにおいても活用できると考えています。これに基づき、グローバル社会で役立つ「外国語にしやすい日本語」について説明します。
2	4月20日（土）	渡邊 泰洋（政経学部）	国際的にみた死刑制度の動向 2003年、死刑廃止世界連盟が「死刑廃止デー」を制定し、既に20年が経過しました。世界的にみると死刑制度を維持する国は少なく、国連からわが国の死刑制度は何度も批判されています。そこで、国際的な動向をふまえて日本の死刑制度について説明します。
3	4月27日（土）	稲葉 知恵子（商学部）	サステナビリティと情報開示 グローバル社会において、企業が社会的責任を果たすためにどのように情報開示に取り組んでいるかを説明します。その後、グループワークで、各グループが興味のある企業・業種を想定し、サステナビリティ報告書で取り上げたいコンテンツについて話し合っ発表します。
4	5月11日（土）	竹下 幸治郎（国際学部）	企業はビジネスを通じてSDGsに貢献できるのか？ SDGsは、ボランティアや政府の取り組みだけで達成できるものではありません。イノベーションを伝播させる企業の役割がカギとなります。中でも注目されるのはスタートアップです。新興国の社会課題解決を目指すスタートアップの動向について説明します。
5	5月18日（土）	工藤 芳彰（工学部）	ソーシャルデザインとコミュニティデザイン デザインは人間の基礎的技術であり、古来よりコミュニティ内の課題解決に役立てられてきた。現在、この取り組みは「ソーシャルデザイン」や「コミュニティデザイン」と称され、「グローカル」に展開している。本授業ではそれらの事例について理解を深める。
6	6月8日（土）	小井 匠津子（外国語学部）	グローバル化は日本語をどう変える？ 日本に暮らす人のほとんどが当たり前のように使っている「日本語」ですが、規模の違いはあれ、何度もグローバル化の波にさらされてきました。これまで「日本語」がたどってきた道を振り返りつつ、これからの変化の可能性について考えます。
7	6月22日（土）	石川 一喜（国際学部）	特別講座～プレゼンテーション力をアップさせよう！（1日目） 自分の「声」を持つよう！ ○前半：プレゼンテーションを行う上で最も大事なことは「伝えたいものがあるか」という自分の内の問題です。そのことを著名人々たちによる「伝説のスピーチ」をベースにしてレクチャーします。 ○後半：プチ演習「自分発のプレゼンにチャレンジしてみよう」 前半のレクチャーを受け、グループ内でお互いにプレゼンし合ってみましょう。実際に仲間のプレゼンを聴き、フィードバックし合う中で、どんな要素が必要で有効的なかを自分たちの中から抽出してみます。 ※事前課題あり
8	7月6日（土）	石川 一喜（国際学部）	特別講座～プレゼンテーション力をアップさせよう！（2日目） 自分のプレゼンをより輝かせるために！ ○前半：前回のフィードバックをもとにしつつ、より効果的に自分のプレゼンテーションを見せる（魅せる）ためのコツ・ヒント（art）をレクチャーします。 ○後半：プチ演習「今までにない魅力的な自己紹介をクリエイトしよう」 2日間の総括として、得た学び・気づきを埋め込んだ「新しい自己紹介」をつくってみましょう。「経験は最上の教師」ですから、失敗を恐れず、新たな自分を表現しましょう。 ※事前課題あり
9	9月21日（土）	新田目 夏実（国際学部）	国際的な人の移動と現代社会の諸問題 グローバル化には「光」の側面と「影」の側面があります。本講義では「国際的な人の移動」の増大に焦点をあて、そのような移動がなぜ発生するのか、そして受け入れ社会にとってどのような社会問題になるのかやさしく解説します。
10	9月28日（土）	佐藤 幸志（商学部）	ビジネスと国際社会貢献 ビジネスには利己的な金儲けというイメージがありますが、ビジネス・ベースで社会的課題の改善・解決に取り組む活動も存在します。外国の社会的課題の解決に取り組む日本企業の事例を交え、世界に溢れる社会的課題に対するビジネスの可能性を説明します。
11	10月5日（土）	常光 康弘（工学部）	イタリア生まれの『Arduino UNO』がつないだこの世界 IoT（Internet of Things）とはインターネットを通して繋がる『もの』全てを指します。 機械と機械だけではなく、実は人間と人間も含まれる!? 世界中で人間の創造力が花開くオープンソースハードウェアを説明します。
12	10月12日（土）	前田 将輝（工学部）	多様な生物の進化における流体力学 人間を含む生物は水や空気という流体の中で生活しています。家や車を作るのに材料力学が必要のように、生物の進化や多様性をよく理解しようとするなら、流体力学が必要になるでしょう。飛翔の具体例を通して生物において流れが果たす役割について説明します。
13	10月26日（土）	郷澤 圭介（外国語学部）	グローバル化に耐える危機言語、マヤ語を体感しよう！ 先住民言語を守り、言語の多様性を維持していくことはSDGs達成のための重要な要素です。植民地時代を生き延び、グローバル化の嵐に耐え続けるメキシコ先住民民族マヤ人のマヤ語の発音・表現やマヤ文字の書き方についてアクティビティも交えて説明します。
14	11月2日（土）	矢ヶ崎 邦彦（政経学部）	グローバル化社会を生き抜くための批判的思考能力 21世紀のグローバル化社会に対応するためのスキルとして批判的思考能力（クリティカル・シンキング）が重要となっています。そこで、英語教育を通じて多面的、論理的に思考し、自らの考えを作り出す批判的思考能力について説明します。
15	11月9日（土）	椎野 幸平（国際学部）	貿易利益と新たな課題 - 国際経済学への招待 - 貿易は我々の生活にとってなくてはならない存在です。日本やアジアの経済成長においても重要な役割を果たしてきました。貿易利益とは何か、そして貿易を支える国際的なルールの基礎について学ぶとともに、貿易政策が直面する新たな課題について紹介します。
16	11月16日（土）	佐藤 丙午（国際学部）	戦争論への招待：国際社会における戦争研究の基礎と最前線 なぜ戦争が発生するのか、そのメカニズムは、その発生を防止する方法は何か、など、国際関係論の中心には戦争と平和をめぐる問題がある。日本の学校教育の中で、政治的理由で国際社会で一般的に教えられてきたものから落とされてきた内容を解説する。
17	11月30日（土）	平山 邦彦（外国語学部）	105分で覚えてみよう！中国語のワンフレーズ 中国語のSV0言語としての語順特性にスポットを当てて学習及び練習する。中国語の概要や発音を簡単に説明し、基本構文を幾つか紹介する。その後グループに分かれて、指定された表現を覚えていく。最後に仕上げとして、時間の許す限り発表してもらう。

■講座の方法

外国語学部、工学部、国際学部等の教員を中心にオムニバス形式で、講義90分、質疑応答・レポート作成15分で講座を進めています。

また、作成したレポートの提出を各回の必須とします。

■予習・復習

各回のテーマについてキーワード等の関連する事項を事前に調べておくこと、また、日頃から新聞やテレビのニュース等に興味・関心を持つことが重要です。

特に、“新聞を読むことを日課とする”ことを心掛け、実行してください。

■教科書・参考書

教科書は使用しません。必要に応じてレジュメを配付します。

7. 高尾登山電鉄株式会社：外国人観光客対応への協力

・・・社員英語研修への講師派遣

【高尾山への外国人観光客受入における連携協力に係る覚書】

1. 事業概要

平成30年度から高尾登山電鉄社内で実施されている英語研修へ本学教員を派遣してきたもので（新型コロナ感染拡大により令和2～3年度は派遣を中止）、令和4年度より高尾登山電鉄と連携協力に係る覚書を締結し、高尾山地域への外国時観光客受入における対応力強化に協力することで、地域の発展および活性化に寄与することを目指す。本年度も工学部准教授 小島和枝先生が多様な協力活動を実施した。

2. 活動報告

(1) 事業名：案内看板等の翻訳表示アドバイス

日 程：令和7年1月

内 容：工学部 小島和枝先生による、高尾山を訪問予定であったが中止となったヨルダン国皇族ハッサン王子宛書状の翻訳を実施。

8. 八王子商工会議所・大学コンソーシアム八王子「出前研究室」事業への参加

1. 事業概要

(1) 事業の背景

八王子には20を超える大学に約10万人の学生が在籍しているが、卒業後当該地域に就職する学生は少ない。また、当該地域には大手の試作開発を支援する中小製造業や自社製品を持つメーカーが集積しているが、技術的課題を解決するために気軽に相談出来ない「大学の敷居の高さ」を指摘する声が多く聞かれる。八王子商工会議所ではこれらの問題を解決すべく、八王子市内で最初にキャンパスを開設した工学院大学と連携事業を推進する為の包括連携協定を締結し、特定の学部を超えた一体的な事業を実施出来る体制を整えた。

(2) 「出前研究室」の現在の仕組み

協定を交わした工学院大学・八王子商工会議所で運営が始まり、年間20社（1社あたり2件）の相談を想定した。その後、本取り組みは東京都から単年度補助（期間未定）を受ながら拡充され、八王子市内10大学・専門学校と提携するに至っている。

(3) 事業概要及び目的

八王子市内の中小企業（工場・事務所）に直接大学等の教員や学生が出向き、講義や技術相談等の協力を行う取組。この取組を通じて産業界と高等教育機関の交流を促し、製品開発や共同研究等を通じ地域の活性化に資することを目的とするものである。

(4) 「出前研究室」参加による企業・大学等のメリット

①学生の「中小企業」への理解促進と市内中小企業への就職率の向上

- ②経営課題やニーズを相互で把握することによる産学協同研究への発展
- ③中小企業の従業員や大学の若手研究者等の人材育成

2. 実績報告

◆相談1件：工学部助教 西垣貴央

- (1) 日 程：令和6年5月10日（金）
 - (2) 場 所：八王子国際キャンパス 工学部棟212実験室
 - (3) 内 容：分析機器設計へのAI活用における基礎的知識・技術を身につけたい
 - (4) 参加者：工学部 西垣貴央先生、相談企業代表者 3名、八王子商工会議所 所員1名
- ※その他、問い合わせ1件。学内調整の結果相談受入れを見送り。

9. 八王子市「南浅川水辺環境活用」の提案

【八王子市と拓殖大学との包括連携に関する協定書】

1. 事業概要

多摩川に注ぐ16の一級河川の源流を有する都市である八王子市では水辺空間を活用する取り組みを進めており、工学部デザイン学科では「ソーシャルデザイン・演習」の演習課題として南浅川を舞台に人々が水辺に滞留する空間づくりを設定した。履修学生により空間づくりの施策を検討・提案し地域社会の活性化を目指す取り組みを進めている。

2. 活動報告

《活動に係る協議等》

◆「南浅川水辺環境活用」打ち合わせ

日 時：令和6年5月10日（金）

場 所：八王子国際キャンパス 工学部棟永見研究室

来訪者：八王子市役所水環境整備課 山田氏、金子氏、唐沢氏

大 学：工学部准教授 永見豊、他

内 容：・水辺活用実証実験、地域住民による自走運営に向けたスケジュール説明（八王子市より）

・9/22の「ミズベアソビ802」への出店準備について

・水辺環境活用に係るボランティア募集情報共有

《イベント企画》

◆南浅川の水辺活用のための実証イベント“ミズカラ”出店

(1) 日 時：令和6年10月26日（土） 10:00～16:00

(2) 場 所：八王子市 原ふれあい広場（南浅川河川敷・陵南公園付近）

(3) 参加者：工学部 永見豊先生、工学部 永見研学生1名・デザイン学科 学生3名
八王子総務課 忍田健史

(4) 内 容：「小学生向け謎解き」ゲームコーナー企画・運営

※11/9(土)に開催された日本デザイン学会秋季企画大会学生プロポジションにおいて、本イベントの企画が優秀発表賞に選出。(発表者：デザイン学科4年・飯田颯)

《調査報告》

◆南浅川の水辺活用提案発表会

(1) 日 時：令和7年1月16日(木) 10:00～13:00

(2) 場 所：八王子国際キャンパス 工学部棟4階 演習室2

(3) 参加者：工学部 永見豊先生、デザイン学科学生17名

八王子市水環境整備課職員7名

(4) 内 容：デザイン学科「ソーシャルデザイン・演習」(後期・2年生)の課題にて企画した水辺活用提案のプレゼンテーション



ミズカライベント全景



ゲーム受付



本学の竹で製作した水鉄砲

10. 岐阜県美濃市 美濃和紙あかりアート展参加

1. 事業概要

美濃和紙あかりアート展は、1300年の歴史を誇る伝統産業の「美濃和紙」の再生と、後に重要伝統的建造物群保存地区に指定される「うだつの上がる町並み」の活性化・ブランド化を目的とし、平成6(1994)年に美濃市観光協会の美濃市制40周年記念事業として開催された。その後、継続事業となり、29回目の開催となる。美濃和紙を使用したあかりのオブジェを一般・小中学生の両部門で全国から一般公募し「うだつの上がる町並み」に2日間にわたり屋外展示し審査が行われる。本学は平成15(2003)年度より参加しており、多数の作品が入賞している。

2. 実績報告

◆作品の出展および地域交流

(◆第31回 美濃和紙あかりアート展

(1) 日 程：第1部 10月13日(日)～25日(金)、第2部 10月26日(土)～12月1日(日)
点灯時間：午後5時～午後9時(第1部、第2部共通)

(2) 場 所：岐阜県美濃市

- (3) 内 容：美濃和紙を使用したあかりのオブジェを一全国から一般公募し審査、展示
- (4) 出 展 数：デザイン学科生活デザインコース3年生、阿部研究室・白石研究室の4年生、大学院生 合わせて27作品（一般の部は全国から168点の出展）
- (5) 表 彰：入選5点、あかりの町並み賞（奨励賞）3点ほか 入選3点・あかりの町並み賞（奨励賞）10点

《参考》

拓殖大学社会連携・社会貢献の方針

拓殖大学は、大学は公共的役割を担う存在であるとの重要性を認識し、積極的に大学情報を国内外に発信すると同時に大学が有する教育・研究の成果、各種施設、ネットワーク等の知的・物的資源の社会への還元を進めていく。

拓殖大学は、これまでも社会の要請に応えるべく、社会連携・社会貢献や国際社会への協力・貢献にも目を向け、種々の施策を進めてきた。

具体的には、大学間及び高大連携、自治体との共催や連携の講座開設、区民や市民大学への講座科目の提供、本学の特色を生かした海外派遣・公開講座・資格取得講座の開設、また、地域社会との連携を目指しての地域行政機関への協力、企業との連携、地域の各種イベントやスポーツ大会を通じた本学学生・外国人留学生と地域住民との交流、教育施設や運動施設の開放などである。

さらに、学生の海外地域活性化プロジェクト参加やボランティア活動参加が、将来の社会の担い手となる学生の国際性や公共へ寄与する意識の醸成に有意義であることから、引き続き推進していく。

また、社会連携・社会貢献を含め教育・研究の展開には、その裏付けとなる財政基盤の確立・充実是不可欠であり、拓殖大学の自主的財源の確保の観点から、その経済的支援の拡大にも努めていく。

拓殖大学の目指す方向は、グローバル化が進展する社会において、国際的視野で地域社会の課題解決にも貢献できる「社会に開かれた国際大学」であり、地域社会と共生し、地域社会から信頼される存在となることである。

◎「拓殖大学地域連携センター」について

本学の教育・研究成果の知を基盤として国内外の地域社会との交流及び活性化に貢献すること、また、学外諸機関とも連携して学生の実践的学修に資することを目的として、平成30年4月1日に八王子国際キャンパスに設置致しました。

尚、同センターの主な事業は、下記の通りです。

1. 地域社会及び学外諸機関との連携・交流・協働に係る活動の推進に関する事項
2. 地域社会及び学外諸機関との連携に係る協定作業に関する事項
3. 地域社会の課題等についての調査・研究に関する事項
4. センターの情報発信に関する事項
5. その他センターの目的を達成するために有益な事項

◎令和6年度地域連携センター会議委員

1. センター長	副学長	山田政通
2. 副センター長	工学部准教授	永見 豊
3. 委 員	商学部准教授	中嶋嘉孝
4. "	政経学部教授	山本尚史
5. "	外国語学部教授	居村啓子
6. "	外国語学部教授	近藤真宣
7. "	工学部教授	工藤芳彰
8. "	工学部教授	佐々木整
9. "	国際学部教授	藍澤淑雄
10. "	国際学部教授	徳永達己
11. "	八王子事務部長	上條聡視（事務統括）
12. "	八王子学務課長	遠藤秀幸（教学関係担当）
13. "	八王子総務課長	杉本 栄（事務担当）
14. "	八王子学生支援室長	高木真一（学生関係担当）
15. "	八王子国際課長	鈴木茂信（留学生関係担当）
	担 当 理 事	井上康信

◆事務局：八王子事務部八王子総務課

令和6年度（2024年度）地域連携センター事業報告書

令和8年3月25日発行

編集兼発行人 八王子事務部八王子総務課
発行所 拓殖大学

〒193-0985

東京都八王子市館町 815-1

<https://www.takushoku-u.ac.jp/>

地域社会と共に



■拓殖大学は、公共的な役割を担う存在として、地域社会と共生し地域社会から信頼される存在となるよう、地域社会が大学に何を求めているかを具体的に把握し、本学が何ができるかを検証し、地域貢献事業を積極的に展開していきたい。